



岐阜信用金庫



2025年9月30日

株式会社Tree Tumboとの ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、株式会社Tree Tumbo（代表取締役 中島 章善）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に取り組んでいきます。

記

【契約内容】

実行日	2025年9月30日
期間	5年
資金用途	事業資金

【企業概要】

企業名	株式会社Tree Tumbo
所在地	岐阜県岐阜市茜部大川一丁目40番地2
代表者	中島 章善
事業内容	衣服・雑貨類の企画、製造、卸売 自社ブランドの企画生産販売
資本金	1,010万円
設立	2018年8月8日
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

以上

株式会社 Tree Tumbo
ポジティブインパクトファイナンス評価書

発行日：2025年9月30日

発行者：岐阜信用金庫 ソリューション営業部



岐阜信用金庫

岐阜信用金庫は、株式会社 Tree Tumbo（以下、同社という）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同法人の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 事業概要	3
(1) 企業情報.....	3
(2) 沿革.....	3
(3) 経営理念.....	3
(4) 事業内容.....	4
2. サステナビリティ	5
(1) 社会貢献に資する取り組み.....	5
(2) 環境保全に資する取り組み.....	6
(3) 社員のモチベーション向上と人材育成に資する取り組み.....	6
(4) 地域社会への貢献に資する取り組み.....	7
3. インパクトの特定	7
(1) バリューチェーン分析.....	7
(2) インパクトレーダーによるマッピング.....	8
(3) 特定したインパクト.....	11
(4) インパクトニーズの確認.....	14
4. KPI の設定	17
5. モニタリング	19
(1) 同社におけるインパクトの管理体制.....	19
(2) 当金庫によるモニタリング.....	19
(3) モニタリング期間.....	19

1. 事業概要

(1) 企業情報

同社は岐阜県岐阜市に本社を構えるアパレルや雑貨の企画・製造を行う企業である。国内外の協力工場と連携し、オリジナルブランドの立ち上げやインフルエンサー支援などを行っている。社名である Tree Tumbo（ツリータンボ）は、アフリカ南西部のナミブ砂漠に生育する植物に由来し、「不毛な環境でも地を這うように葉を伸ばし続ける生命力」を象徴している。

企業名	株式会社 Tree Tumbo
本部所在地	岐阜県岐阜市茜部大川 1 丁目 40-2
代表者	中島 章善
資本金	1,010 万円
設立	2018 年 8 月
売上高	39 億円(2025 年 7 月期)
従業員数	48 名
事業内容	衣服・雑貨類の企画、製造、卸売 自社ブランドの企画生産販売

(2) 沿革

2018 年 8 月	創業
2023 年 3 月	本社移転
2024 年 1 月	岐阜市に自社工場新設
2025 年 1 月	岐阜市に物流倉庫新設
2025 年 6 月	thefoundations 株式会社を M&A にて買収

(3) 経営理念

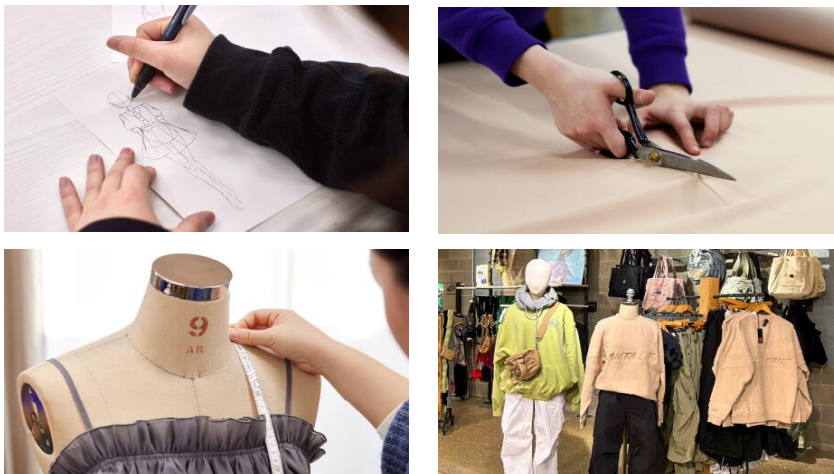


(4) 事業内容

同社は、アパレルや雑貨の企画・製造・販売を手がける企業であり、国内外の協力工場と連携しながら、高品質かつ独自性のある製品づくりを行っている。自社オリジナルブランドの立ち上げに加え、インフルエンサーやクリエイターとのコラボレーションを通じて、トレンドを取り入れた商品開発を推進している。OEMにも対応し、企画から生産、販売支援までを一貫して提供することで、クライアントの多様なニーズに応えている。

【アパレル・雑貨の企画・製造】

メンズ・レディースファッションおよび雑貨の企画から製造までを一貫して対応しており、国内外の協力工場と連携し、OEM・ODM 生産体制を構築することで、柔軟かつ高品質な製品供給を実現している。



【オリジナルブランド支援】

ブランド立ち上げを目指す個人や企業に対して、ゼロからの企画・デザイン・製造を一貫してサポートする体制を整えている。市場のトレンドを的確に捉えた企画力と、国内外の協力工場による高品質な製造力を融合させ、クライアントの理想を形にする。

【インフルエンサー支援】

オリジナルブランドの支援に加え、インフルエンサーとのコラボレーションを積極的に展開し、SNS やファンベースを活用した商品展開を通じて、個人のブランド化や販路拡大を支援している。さらに、小ロットから大量生産まで柔軟に対応可能な生産体制を持ち、スタートアップから大手企業まで幅広いニーズに応えている。

【販売サイトの運営】

BtoC 事業として「thehighlights (ザハイライツ)」という販売サイトの運営を行っている。ベーシックモードな女性のためのエッセンスウェアと雑貨を展開するブランドであり、日常に寄り添う洗練されたデザインを軸に、ウェア・バッグ・アクセサリー・コスメなど幅広いアイテムを企画・販売している。

2. サステナビリティ

(1) 社会貢献に資する取り組み

同社は、岐阜県岐阜市に本社を構えるアパレルや雑貨の企画・製造を行う企業である。国内外の協力工場と連携し、オリジナルブランドの立ち上げやインフルエンサー支援などを行っている。

具体的な取り組み内容は以下の通りである。

【持続可能なブランド支援】

- ・小ロット生産やインフルエンサーとの協業を通じて、過剰生産を抑えた効率的な商品展開を実現している。これにより、環境負荷の軽減と市場ニーズに即した柔軟な供給体制を両立させている。また、ブランド立ち上げ支援を通じて、個人の自立や創造的なキャリア形成を支援しており、ファッション業界における多様な人材の活躍を後押ししている。
- ・人気キャラクターを活用した商品づくりを通じて、日常に楽しさや癒しを届けている。パートナー企業との信頼関係のもとで製品を企画・製造し、幅広い世代に愛されるアイテムを展開。こうした活動は、文化的価値の発信や地域経済への貢献に繋がっている。

【アパレル業界の発展】

- ・ファッションや雑貨を通じて人々の暮らしに彩りと楽しさを届けることを使命としている。単なるものづくりにとどまらず、感性や個性を表現する手段としての製品を提案し、心の豊かさや自己肯定感の向上に貢献し、社会にポジティブな価値を提供している。
- ・岐阜県と東京都に拠点を構え、地元の工場や職人と連携しながら、アパレル・雑貨の企画製造を行っている。地域の技術や文化を活かしたものづくりを通じて、国内産業の維持・発展に貢献。本業そのものが、地域経済や雇用の支援につながる社会的価値を生み出しています。

【多様性と個性の尊重】

- ・「キソウテンガイ」な発想を企業理念に掲げ、既成概念にとらわれない自由なアイデアを尊重する企業文化を築いている。この理念は、商品企画や事業戦略だけでなく、社内の働き方にも深く根付いており、社員一人ひとりの個性や創造性を活かした職場づくりを推進している。

(2) 環境保全に資する取り組み

同社では環境問題を意識し、環境に配慮した事業活動を実践することで、積極的な地域環境保全に取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は以下の通りである。

【産業廃棄物の削減、適正廃棄への取り組み】

- ・小ロット生産や受注生産型の OEM 体制を通じて、過剰在庫や廃棄ロスの削減に取り組んでいる。これにより、ファッション業界における環境負荷の軽減に貢献している。また、国内外の協力工場との連携においても、品質管理と効率的な生産体制を重視し、持続可能なサプライチェーンの構築を目指している。
- ・廃棄予定の衣類を回収し古着のリメイクを積極的に行っている。廃棄される衣類に新たな価値を与えることで、資源の有効活用と廃棄物削減を実現している。デザイン性とサステナビリティを両立させた製品づくりを通じて、循環型社会の実現に貢献している。

(3) 社員のモチベーション向上と人材育成に資する取り組み

同社では、従業員がやりがいを持って健康に働き続けられる職場づくりに取り組むとともに、従業員が成長できる環境の整備に取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は以下の通りである。

【従業員が健やかに働き続けられる職場環境形成に向けた取り組み】

- ・様々な雇用形態やフレックス制度を導入し、従業員一人ひとりのライフスタイルに応じた柔軟な働き方を実現している。特に女性の活躍を推進しており、育児や家庭と両立しやすい環境づくりに注力している。自由で自律的な働き方を尊重することで、多様な人材が能力を発揮できる職場を目指している。
- ・社員の心身の健康とチームのつながりを大切にし、社員旅行を自分たちで企画することで主体性と交流を促進している。また、年一回の健康診断の実施に加え、日常的な声かけやコミュニケーションを通じて、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

【モチベーション向上と人材育成】

- ・ファッションが好きな仲間を歓迎する職場づくりを推進しており、社員一人ひとりの個性を尊重した環境の中で、スキルアップと自己実現を支援している。業務を通じて自身の成長を目指す人材を積極的に受け入れ、働きがいのある職場の実現に力を入れている。
- ・企業理念である「キソウテンガイ」な発想を体現するように、自由で創造的なアイデアを尊重する文化を育み、社員が自らの価値を発揮できる環境を整えている。これにより、個人の成長と組織の発展が両立する、持続可能な人材育成の仕組みを構築している。

- ・柔軟で開かれた組織体制のもと、働きがいのある環境の提供を目指し、社員が自らの価値を發揮できる場を創出している。多様なバックグラウンドを持つ人材が協力し合い、新しい価値を生み出すことを大切にしている。

(4) 地域社会への貢献に資する取り組み

同社では地域と一体となって社会資本を維持していくため、地域社会への貢献活動についても積極的に取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は以下の通りである。

【地域に根ざした事業展開】

- ・地元の工場や職人との協力体制を築くことで、地域の技術や雇用を活かしながら、ファッション産業の活性化に貢献している。
- ・地域の人材を積極的に採用し、ファッションが好きな仲間を歓迎する職場づくりを通じて、地元の若者やクリエイターの活躍の場を提供している。

3. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

インパクトの特定のため、同社の主力事業についてバリューチェーン分析を実施した。

同社では企画・デザインから製造、販売、プロモーションまでを一貫して手がけることで、独自の価値を創出している。国内外の協力工場との連携により高品質な製品を安定供給し、インフルエンサーとの協業や SNS 活用によって市場への訴求力を高めている。

同社のバリューチェーン図



(2) インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

国際産業標準分類			川上の事業		同社の事業①		同社の事業②		川下の事業		
			【4641】 衣料品・履物の卸売		【1410】 衣服の製造		【4641】 衣料品・履物の卸売		【4771】 衣料品の専門小売		
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	
社会	人格と人の 安全保障	紛争									
		現代奴隷				◎					
		児童労働				◎					
		データプライバシー									
		自然災害									
	健康及び安全性	健康及び安全性	○	○	○	◎	○	○	○	○	
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、品質	水					◎				
		食糧									
		エネルギー									
		住居									
		健康と衛生									
		教育									
		移動手段									
		情報									
		コネクティビティ									
		文化と伝統									
	ファイナンス										
	生計	雇用		○			○		○		○
		賃金		○			○	◎	○		○
		社会的保護			○		○		○		○
平等と正義	ジェンダー平等					◎					
	民族・人種平等										
	年齢差別										
	その他の社会的弱者					◎					
社会経済	強固な制度・ 平和・安定	法の支配									
		市民的自由									
	健全な経済	セクターの多様性									
		零細・中小企業の繁栄		○			○		○		◎
	インフラ	インフラ									
経済収束	経済収束										
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○		○		○			
	生物多様性と 生態系	水域		○		◎		○			
		大気		○			○		○		
		土壌									
		生物種		○				○			
		生息地		○				○			
	サーキュラリティ	資源強度					◎				
		廃棄物		○			◎		○		○

同社の事業および川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「衣服の製造（ISIC:1410）」「衣料品・履物の卸売（ISIC:4641）」を、川上の事業については「衣料品・履物の卸売（ISIC:4641）」を、川下の事業については「衣料品の専門小売（ISIC：4771）」を適用し、発生するインパクトの検証を行った。

上表のうち、同社の事業①②の「現代奴隷」「児童労働」「水」「その他の社会的弱者」「水域」「生物種」「生息地」については同社の事業と関係が希薄であるため、分析を割愛している。

また、川上および川下の事業は同社事業活動が与える影響については軽微なものとなるため、分析を割愛している。

同社の事業① 衣服の製造（ISIC:1410）

PI	「健康及び安全性」「雇用」「賃金」「零細・中小企業の繁栄」
NI	「健康及び安全性」「賃金」「社会的保護」「ジェンダー平等」「気候の安定性」「大気」「資源強度」「廃棄物」

同社の事業② 衣料品・履物の卸売（ISIC:4641）

PI	「健康及び安全性」「雇用」「賃金」「零細・中小企業の繁栄」
NI	「健康及び安全性」「社会的保護」「気候の安定性」「大気」「廃棄物」

【社会面】

◆「健康及び安全性」

衣服により気温変化や紫外線から体を保護することで、健康および安全性に寄与する PI が発生する。しかし、労働環境によっては従業員の健康に悪影響を及ぼす可能性があるという NI が発現する。同社では、従業員とその家族の健康維持・増進を支援し、健康状態に応じた持続可能な働き方を実現することで、NI を緩和している。

衣類は、摩耗や汚れ、紫外線などの外的要因から身体を守る物理的な保護機能を備えると同時に、着用者の身体的・精神的・社会的なウェルビーイングにも寄与する。快適な着心地や安心感を提供するだけでなく、自己表現の手段としても機能することで、日常生活における満足度や自信の向上につながるため PI を拡大し、NI を緩和する。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」に該当する。

◆「雇用」「賃金」「社会的保護」

従業員の雇用と賃金の創出という PI が発現する。一方、雇用形態によっては従業員の賃金、社会的保護が守られず従業員の生計を脅かすという NI が発現する。同社では性別を問わず多様な人材が活躍できる職場環境形成や、意見を言いやすく、チャレンジを歓迎する文化があり、社

員の成長意欲を支援することで PI を拡大している。労働環境については、残業はほとんどなく従業員のワーク・ライフ・バランス確保することで NI を緩和している。

上記は SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

◆「ジェンダー平等」

雇用形態や労働環境等によっては、性別による不平等を助長・維持してしまうという NI が発現する。

同社では、性別に関係なく、誰もが活躍できる環境を目指しており、育児や介護などのライフイベントに対応しやすい職場環境を整備しているほか、性別に関係なく意見を言いやすい風土を育て、NI を緩和している。

上記は SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」に該当する。

【社会経済面】

◆「零細・中小企業の繫栄」

事業活動により地域経済が活性化するという PI が発現する。同社ではアパレルや雑貨の企画・製造を行い、国内外の協力工場と連携し、オリジナルブランドの立ち上げやインフルエンサー支援を行うことで PI を拡大している。

上記は SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に該当する。

【自然環境面】

◆「気候の安定性」「大気」

アパレル製品の製造プロセスは運搬の際に発生する大気汚染や温室効果ガスにより大気や気候に悪影響を及ぼすという NI が発現する。同社は小ロット生産や受注生産型の OEM 体制を通じて効率的な生産体制を整備しており、無駄のない製造を行うことで NI を緩和している。

上記は SDG13「気候変動に具体的な対策を」に該当する。

◆「資源強度」「廃棄物」

非効率な製造プロセスは資源の過剰使用につながる可能性があり、また製造過程で発生する廃棄物が適正な処分がおこなわれないことに起因する産業廃棄物の増加という NI が発現する。同社では、出荷時の梱包資材を再利用し、値札やラベルについて再生紙を使用するなど、環境に配慮した営業活動を通じて NI を緩和している。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

「12.5 廃棄物の発生を 3R で大幅に減らす」

(3) 特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。

ポジティブインパクト



ネガティブインパクト

以上を踏まえて、同社の重要なインパクトを以下の3つに特定した。

【重要なインパクト】

- ① 「連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化」
- ② 「資源利用の効率化促進」
- ③ 「働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進」

① 連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化 : SDG9



同社では、ブランド立ち上げ支援を通じて、個人の自立や創造的なキャリア形成を支援しており、ファッション業界における多様な人材の活躍を後押ししている。

ファッション業界という流行の流れが速い中であっても顧客の多様なニーズに応える柔軟性と、長期的な信頼性を兼ね備えた製品の提供を実現するとともに、持続可能な社会の実現に向けた企業の責任として、Tree Tumbo の事業活動に深く根付いている。

同社の強みである受注生産型の OEM 体制をブラッシュアップして、より多くの人々に安心・安全な衣料を提供することで、本業を通じて社会とつながり、未来に向けた責任ある企業活動を展開していく。また、キャラクターライセンスを増やすことで受注領域の拡大を狙い、高品質な製品共有を今後も行っていく。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「零細・中小企業の繁栄」のインパクトトピックに該当し、社会経済的側面の PI を拡大すると考えられる。

② 資源利用の効率化促進 : SDG12、13



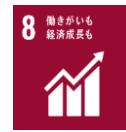
同社では、持続可能な社会の実現に貢献することを目的に、小ロット生産や受注生産型の OEM 体制を通じて、過剰在庫や廃棄ロスの削減に取り組んでいる。

ファッション業界における環境負荷の低減に注力し、国内外の協力工場との綿密な連携により品質管理と効率的な生産体制を構築している。また、廃棄予定の衣類を回収し、古着としてリメイクしたのちに販売を行うことで、資源の有効活用及び廃棄物の削減に貢献している。柔軟な製造体制を維持することで必要量生産や受注生産を取り入れて在庫廃棄を削減し、資源利用の効率化に寄与している。

同社の営業活動を通じて発生する使用済みの梱包資材を再利用し、新たな梱包資材の廃棄物削減に取り組むほか、値札やラベルについて再生紙を使用することで環境に配慮した経営を今後も目指していく。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「気候の安定性」「廃棄物」のインパクトトピックに該当し、自然環境的側面の NI を緩和する。

③ 働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進 : SDG8



同社では、性別を問わず多様な人材が活躍できる職場環境の整備に注力しており、風通しの良い企業風土が形成されている。同社の企業理念である「キソウテンガイ」な発想を体現するように、自由で創造的なアイデアを尊重する文化を育み、社員が自らの価値を発揮できる環境が整備されている。

従業員一人ひとりの心身の健康とチームの繋がりを大切にしており、年1回の健康診断を確実に実施し、日常的な声掛けやコミュニケーションを通じて、心理的安全性の高い職場環境づくりを行っている。

フレックス制度など、様々な雇用制度を導入し、従業員一人ひとりのライフスタイルに合わせた働き方を実現することが可能となっている。特に育児と家庭の両立がしやすい環境づくりに注力しており、自由で自律的な働き方を推進することで、だれもが理想的なワークライフバランスを維持できる職場環境づくりを行っている。

同社は今後もファッションに対して関心の高い人材の採用を行い、性別を問わず多様な人材が活躍できる職場環境づくりを目指していく。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは「雇用」のインパクトトピックに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

(4) インパクトニーズの確認

① 日本におけるインパクトニーズ

同社の売上の大半は日本国内におけるものであり、国内における SDG インデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 4 点である。

- 「 8 : 働きがいも経済成長も」
- 「 9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう」
- 「12 : つくる責任つかう責任」
- 「13 : 気候変動に具体的な対策を」

国内における SDG ダッシュボード上では、「12」、「13」に関しては「大きな課題が残る」、「9」に関しては「重要な課題が残る」、「8」に関しては「課題が残る」とされており、同社における「連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化」への取り組み、「資源利用の効率化促進」への取り組み、「働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進」への取り組みなどが、日本国内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出典 : SDSN)

② 岐阜県におけるインパクトニーズ

同社の事業活動は立地する岐阜県を中心に行われていることから、「岐阜県 SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

以下の通り、岐阜県では「<環境>美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用」、「<経済>「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立」、「<社会>誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築」を 2030 年のあるべき姿と設定し SDGs 達成に向けた課題を設定しており、同社の「「連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化」への取り組み、「資源利用の効率化促進」への取り組み、「働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進」への取り組みなどが、岐阜県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

岐阜県 第2期 SDGs 未来都市計画の概要

計画の位置付け

- ・内閣府に「SDGs未来都市」として選定された自治体が2030年のあるべき姿を実現するため、環境・経済・社会の3側面の取組みを具体化したアクションプラン。
- ・第1期計画が令和4年度で終了することから、第2期（令和5年度～令和7年度）計画を策定。

地域特性

①岐阜県の特徴

- 豊かな自然環境
 - ・豊かな森林と美しい清流に恵まれた「山系水明」の地（森林面積、河川延長は全国団塊）
 - ・これらは岐阜県が優位性を有する「自然資本」
- 「豊かな自然」が育んだ魅力あふれる地域資源
 - ・豊かな自然から得た地域資源を糧に各地域で独自の生活様式や文化を形成
 - ・世界農業遺産「長良川システム」の認定（2015年）
 - ・「清流」が織りなす文化、食、営みにより本県は「清流の国」と呼ばれるアイデンティティを確立
- 多彩な農林畜水産物
 - ・多彩な農林畜水産物を生産（ほうれんそう、トマト、柿、栗、飛騨牛、東濃柿等）
- 多様なものづくり（伝統工芸から先端産業まで）
 - ・多様な製造業が事柄
 - （飛騨の家具、関の刃物、美濃和紙、美濃焼、電気機械・工作機械などの製造業、航空宇宙産業等）
- 魅力的な観光地とインバウンド
 - ・魅力的な観光資源
 - （白川郷、下呂温泉、飛騨高山、長良川鮎川、関ヶ原、地歌舞伎等）
 - ・サステイナブル・ツーリズムの推進
 - ・世界の持続可能な観光地100選【白川村（2020年）、長良川流域（2021年）、下呂市・下呂温泉（2022年）】
 - 「NEXT GILI HERITAGE～岐阜未来遺産～」認定制度の創設

②岐阜県人口

<推移と予測> 201万8千人（2000年）→197万9千人（2020年）→136万7千人（2050年）
<年齢構成の予測>2050年：生産年齢人口（15～64歳）は5割まで減少、高齢人口（65歳以上）は4割超

今後取り組む課題

- 少子高齢化に対応した地域活性化が必要
- アフター・コロナを見据えたDX、GXなどの推進が必要
- 気候変動や環境問題等、プラネタリー・バウンダリー[※]の観点での対応が必要

持続可能な「清流の国ぎふ」づくり

<環境> - 温室効果ガス削減
- 自然と人が共生できる社会の確立、等

<経済> - デジタル技術を活用したビジネス変革
- 社会経済情勢の変化に強い経営体質等へのシフト、等

<社会> - 誰もが活躍でき生きがいを得られる社会的包摂
- デジタル化やSDGsといった課題に対応できる教育、等

これらに「オール岐阜」での取組みが不可欠

2030年のあるべき姿

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【「あるべき姿」を実現するための共通認識】

- ・森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- ・各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- ・SDGsは地球で暮らす一人ひとりが最低限備えるべきマナーと理解すべき

<環境> 美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- ・「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用の実現
- ・資源循環型社会の形成
- ・自然災害への対策の構築

<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

- ・伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- ・DXによる産業分野の競争力の発揮
- ・サステイナブル・ツーリズムの確立
- ・コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

<社会> 誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築

- ・多様な人材の活躍
- ・デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開
- ・人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- ・子育て支援等福祉医療の充実

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

環境	経済	社会												
<ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素社会ぎふ」の実現、自然環境・生物多様性の保全、資源循環型社会の形成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用したビジネス変革の推進、多様な人材の確保・定着等、社会経済情勢の変化に強い産業構造を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用したビジネス変革の推進、多様な人材の確保・定着等、社会経済情勢の変化に強い産業構造を目指す。 												
<p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス総排出量 ・家庭一世帯当たりのエネルギー消費量 ・一般社団法人等からの排出量 ・人工造林面積（再造林等） 	<p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業産出額 ・林業産出額 ・従業員一人当たりの付加価値額 ・観光消費額 ・一人当たり県民所得 	<p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人取り残されることなく活躍できる人口減少下でも活力ある地域社会を目指す。 ・くらしの満足度 ・合計特殊出生率 ・労働力率 ・移住者数（累計） 												
<p>※目標値は3年に記載</p>														
<h4>ゴール、ターゲット実現のため「オール岐阜」でSDGsを推進</h4> <p>・県民一人ひとりがSDGsの理念や意義を理解し、その達成に向け行動する社会を目指す。</p>														
<p>【KPI（指標）】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>県民のSDGs達成に向け行動に移した割合</td> <td>52.8%（2022年度）</td> <td>→</td> <td>80.0%（2030年度）</td> </tr> <tr> <td>「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数</td> <td>924会員（2021年度）</td> <td>→</td> <td>1,650会員（2025年度）</td> </tr> <tr> <td>新たな登録制度の登録事業者数（累計）</td> <td>—</td> <td>→</td> <td>600企業・団体（2025年度）</td> </tr> </table>			県民のSDGs達成に向け行動に移した割合	52.8%（2022年度）	→	80.0%（2030年度）	「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数	924会員（2021年度）	→	1,650会員（2025年度）	新たな登録制度の登録事業者数（累計）	—	→	600企業・団体（2025年度）
県民のSDGs達成に向け行動に移した割合	52.8%（2022年度）	→	80.0%（2030年度）											
「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数	924会員（2021年度）	→	1,650会員（2025年度）											
新たな登録制度の登録事業者数（累計）	—	→	600企業・団体（2025年度）											

※プラネタリー・バウンダリー：地球の環境容量を考慮する9つのプラネタリーシステム（気候変動、海洋酸性化、生態系崩壊、水圏システム、大気エアロゾルの削減、生物多様性の喪失、土地劣化、生物多様性の喪失、大気エアロゾルの削減、化学物質による汚染）の限界を定する概念

（出典：岐阜県第2期 SDGs 未来都市計画の概要）

15

③ 岐阜信用金庫との親和性

◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の 3 項目を SDGs 達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

◆親和性の確認


本件 PIF の取り組みに際し特定した同社のインパクトである「連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(2)、(3)と、「資源利用の効率化促進」については「ぎふしん SDGs 宣言」の (2)、(3)と、「働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の (3)と親和性があり、相互に協力しあうことで、「社会」「社会経済」「自然環境」の 3 つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。

以上から、本 PIF の取り組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。



4. KPI の設定

特定したインパクトの発現状況を今後も継続的に測定可能なものとするため、先に特定したインパクトに対し、インパクトの種類、インパクトトピック、関連する SDGs、内容・対応方針および目標と KPI を整理、設定する。

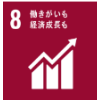
■ 連携を通じた高品質なアパレル製品の提供力強化

項目	内容
インパクトの種類	社会経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトトピック	「零細・中小企業の繁栄」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・OEM 生産体制の見直し、国内外の協力工場と連携を行うことで高品質な製品供給を行う ・OEM のキャラクターライセンス数を増やし、高品質な製品をより多くの顧客に提供する
目標と KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 7 月期までに売上高 50 億円以上を達成する 2025 年 7 月期実績：39 億円 2024 年 7 月期実績：25 億円 2023 年 7 月期実績：19 億円 ・2030 年 7 月期までに OEM のキャラクターライセンス数を 5 件に増やす 2025 年 7 月期実績：2 件

■ 資源利用の効率化促進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトトピック	「廃棄物」「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包資材の管理徹底のための社内教育、ポスター掲示 ・値札やラベルについて環境に配慮した再生紙を使用した商品のお客様への提案 ・営業用車両をハイブリッド車、EV に切り替えることで CO2 排出量の削減に取り組む
目標と KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 7 月期までに出荷の際の梱包資材の再利用率を 30%以上にする 2025 年 7 月期実績：10% (年間梱包資材使用量 10 万ケース) ・2030 年 7 月期までに値札やラベルを環境に配慮した再生紙の比率を 30%以上にする 2025 年 7 月期実績：20% (年間値札・ラベル使用枚数 400 万枚) ・2030 年 7 月期までにエコカーの割合を 50%にする 2025 年 7 月期実績 0 台/4 台

■ 働きやすい、笑顔のある魅力的な職場環境づくりの推進

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトトピック	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のファッションが好きな人材を歓迎する職場づくりを通じて様々な人材の活躍の場を拡大していく
目標と KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 7 月期までに従業員数を 60 名以上とする 2025 年 7 月期実績：48 名 ・2030 年 7 月期までにデザイナーの人数を 15 名以上とする 2025 年 7 月期実績：12 名

5. モニタリング

(1) 同社におけるインパクトの管理体制

同社では、中島社長を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定、並びに KPI の設定を行った。

今後については、以下の体制を中心とした同社プロジェクトチームが柱となって SDGs の推進、本 PIF で設定した KPI の進捗管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役	中島 章善
実施責任者	代表取締役	中島 章善

(2) 当金庫によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と岐阜信用金庫の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。情報共有については、少なくとも年に 1 回実施することに加え、日々の情報交換や営業活動を通じて実施していく。

(3) モニタリング期間

以下の通り融資返済期限と同一期間にて定める。

モニタリング期間 (返済期限)	5 年間 (2030 年 9 月 5 日)
--------------------	--------------------------

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、岐阜信用金庫が現時点で入手可能な公開情報、株式会社 Tree Tumbo から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 岐阜信用金庫が本評価に際して用いた情報は、岐阜信用金庫がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。岐阜信用金庫は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は岐阜信用金庫に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。